

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（令和6年度～令和7年度）
研究開発課題名	抗がん性核酸集合体医薬の送達に関する研究開発
代表機関名	東京大学
研究開発代表者名	岡本 晃充

総合評価：良い

【評価コメント】

本研究は、抗がん性核酸医薬品候補である化学合成短鎖ヘアピン核酸対（oHPs）の乳がん組織への効率的な送達・集積による腫瘍増殖抑制効果の向上を目指したものである。検討の結果、連携研究者が保有する複数の DDS 技術の中から、薬効および安全性の両面を考慮した oHPs-DSG 複合体を有望な候補として選択できた点は評価できる。

今後は、oHPs-DSG 複合体の作用機序や体内動態に関する検証を継続するとともに、疾患モデルにおける有効性および安全性の検証を進め、本研究成果を核酸医薬の実用化や新たながん治療法の開発につなげることを望む。

以上